

2019 年度 事務事業評価(2018年度実施事業事後評価)シート / 2020 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	107								
事務事業名	外国語対応事業費			補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	10	項	01	目	03	事業	04	
担当部	教育委員会	担当課	指導課	担当係															
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称 : 常総市教育大綱)				根拠法令及び市条例等	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称 :) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称 : 「英語教育改革実施計画」 H25.12.13 「外国人児童生徒教育の充実について」H18.6.22【文科初第368号】) <input type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称 :)													

2 事務事業の目的										①「望ましい状態」とはどのような状態か？→ ②一方で、「現状や課題」はどうか？→ ③そのためには何をすべきか？ という過程で考えていただいても結構です。											
現状課題	中学校での外国語の指導に加え、H30年度から小学校で外国語科、および外国語活動の授業が先行実施となり授業数も3年生から6年生まで昨年度比15時間増え、さらにH31年度には20時間増える。今後、外国語指導のさらなる充実が求められている。(中学校3年生の内、CEFRA1(英検3級相当)以上の英語力を有するまたは有すると思われる割合 文部省目標50% H30年度本市37.7% 文部省目標 50%) また、市内の市立幼稚園・小中学校には、外国人園児児童生徒が計356人在籍している。その中には日本語が十分に身につけておらず、学習や生活に不安を感じている児童生徒も多く、個別の支援が必要である。										誰・何を対象に	・市内の園児児童生徒									
	どのような方法・手順で										14小学校、5中学校と5幼稚園にALT派遣講師を計画的に配置し、授業支援をする。ポルトガル語・タガログ語を母語とし、日本語が堪能な外国人児童生徒支援員を雇用し、外国人が多く在籍する幼稚園・小中学校に配置する。										
望ましい状態	・市内公立幼稚園・小学校・中学校の外国語教育におけるサポート体制が充実されることで、先生方の英語指導力が向上し、英語を進んで身に付けようとする幼児・児童・生徒が増える。 ・外国人園児児童生徒への教育が充実し、学習意欲が向上する。 ・市内小中学校の児童生徒の日本語力、英語力が向上する。																				

3 事務事業の主たる成果指標										数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。									
指標名	中学校3年生の内、CEFRA1(英検3級相当)以上の英語力を有するまたは有すると思われる割合	単位	%	目標値	50	目標年次	2020	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	指標名については、2018年度より外国語活動・英語の授業満足度、外国人児童生徒の学校生活満足度から、現指標名に変更した。外国人児童生徒支援員による支援により、外国人園児児童生徒への教育が充実することで、学習意欲や英語科を含む各教科の学力が向上する。ALT派遣講師による授業等の支援により、幼児・児童・生徒の英語教育が充実することで、英語学習への意欲や英語力が向上する。									

4 事務事業の実績 ㊦										当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。																				
年度	2016年度					2017年度					2018年度																			
	業務名					業務名					業務名																			
	活動量					活動量					活動量																			
	①	外国人児童生徒支援員配置				8000時間	①	外国人児童生徒支援員配置				8000時間	①	外国人児童生徒支援員配置				8000時間												
	②	幼稚園・小学校英語活動に関するALT配置				4人配置	②	幼稚園・小学校英語活動に関するALT配置				5人配置	②	幼稚園・小学校英語活動に関するALT配置				6人配置												
	③	中学校英語活動に関するALT配置				5人配置	③	中学校英語活動に関するALT配置				5人配置	③	中学校英語活動に関するALT配置				5人配置												
	④						④						④																	
	⑤						⑤						⑤																	
	⑥						⑥						⑥																	
	⑦						⑦						⑦																	
	⑧						⑧						⑧																	
	⑨						⑨						⑨																	
⑩						⑩						⑩																		
⑪						⑪						⑪																		
⑫						⑫						⑫																		
目標値に対する実績値					80	%	目標値に対する実績値					80	%	目標値に対する実績値					38	%										
決算額	計	38,509,100	円	内訳	特定財源	0	円	一般財源	38,509,100	円	計	43,915,900	円	内訳	特定財源	0	円	一般財源	43,915,900	円	計	46,302,740	円	内訳	特定財源	0	円	一般財源	46,302,740	円
(住民一人あたりの行政コスト)					633	円	(住民一人あたりの行政コスト)					726	円	(住民一人あたりの行政コスト)					772	円										

5 担当者評価 ㊦										実施したことによる成果や問題点を記入してください。									
成果	目標どおり	小学校・幼稚園への計画的なALT配置により、外国語活動等の英語教育が充実し、園児・児童・生徒の外国語学習への意欲関心が高まった。中学校においては、言語活動が充実し、県インタラクティブフォーラム大会では市内から5名が上位入賞した。外国人児童生徒支援員の配置により、外国人児童生徒の学力向上が図られ、県立高校進学等の支えとなった。																	
	成果内容																		
問題点	小学校における外国語科 外国語支援員について、市内には支援対象者が190名以上在籍しており、支援員が不足している状況である。特に北海道小学校には40名以上の対象者がおり、増員が必要である。																		

6 担当部長及び担当課長評価 ㊦										担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。									
事務事業の方向性										<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止									
評価理由	市内に日本語指導が必要な幼児児童生徒が200名近くいる中、8名の支援員では支援が不足している状態である。特に該当児の在籍数が多い学校では、個別支援の時間が十分に取れず、増員を強く望んでいる状況であるため、事業の拡充が必要である。 ALT講師派遣について、H31年度からの小学校外国語科・外国語活動の授業数増加に伴い、授業準備や研修に必要な時間も増える。現場の支援を十分に行うために、人員の拡充が必要である。																		

7 実施計画 ㊦										今後3年間の事業内容について、どのようなことをどの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。												
年度	2019年度					2020年度					2021年度											
事業内容	○外国人児童生徒支援員配置(8名) 8,384,000円 【内訳】 ・ポルトガル語等を母国語とする外国籍児童生徒への支援 ・1000円×5時間×200日×8名=8,000,000円 ・通勤手当 4000円×12月×8名=384,000円 ※水海道小2名、岡田小2名、飯沼小1名、岡田幼稚園1名、海中1名、石下西中1名配置する。					○外国人児童生徒支援員配置(10名) 10,480,000円 ・ポルトガル語等を母国語とする外国籍児童生徒への支援 ・1000円×5時間×200日×10名=10,000,000円 ・通勤手当 4000円×12月×10名=480,000円 ※支援員を2名増員し、日本語での生活や学習に困難がある外国籍児童生徒が多数在籍している北海道小学校に増員配置する。					○外国人児童生徒支援員配置(12名) 12,576,000円 ・ポルトガル語等を母国語とする外国籍児童生徒への支援 ・1000円×5時間×200日×12名=12,000,000円 ・通勤手当 4000円×12月×12名=576,000円 ※支援員を2名増員し、日本語での生活や学習に困難がある外国籍児童生徒が在籍している市内小学校に配置する。											
	○幼稚園・小学校・中学校英語活動に関するALT配置(11人) ・市内各幼稚園及び各小中学校へ年間配置計画のもとに実施 ・講師派遣料(税込)11名 38,345,000円					○幼稚園・小学校・中学校英語活動に関するALT配置(12人) ・前年より1名増員し、サポート体制を強化する。 ・市内各幼稚園及び各小中学校へ年間配置計画のもとに実施 ・講師派遣料(税込)12名 3,700,000円×1.1×12名 = 48,840,000円					○幼稚園・小学校・中学校英語活動に関するALT配置(12人) ・市内各幼稚園及び各小中学校へ年間配置計画のもとに実施 ・講師派遣料(税込)12名 3,700,000円×1.1×12名 = 48,840,000円											
	成果指標	指標名	中学校3年生の内、CEFRA1(英検3級相当)以上の英語力を有するまたは有すると思われる割合	単位	%	目標値	40	指標名	中学校3年生の内、CEFRA1(英検3級相当)以上の英語力を有するまたは有すると思われる割合	単位	%	0	45	指標名	中学校3年生の内、CEFRA1(英検3級相当)以上の英語力を有するまたは有すると思われる割合	単位	%	目標値	50			
	予算額	歳出	計				46,729	千円	歳出	計				59,320	千円	歳出	計				61,416	千円
		歳入	特定財源				0	千円	特定財源				0	千円	特定財源					千円		
			一般財源				46,729	千円	一般財源				59,320	千円	一般財源				61,416	千円		
			計				46,729	千円	計				59,320	千円	計				61,416	千円		

8 財務アドバイザーの見解									
『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いことが期待される2019年度の一般財源予算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。									

9 行政改革懇談会(市民)の意見									
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。外国語支援員及びALTの不足は喫緊の課題と認識する。外国籍児童生徒が多いことは本市の特徴であり、充実した学校生活を送るためにも、サポート体制を強化すべきである。また、外国語科、外国語活動の授業数増加から児童生徒への適切な外国語指導のためにALTの確保に努めること。									

10 最終評価(行政改革推進本部) ㊦										
事務事業の方向性										
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止										
評価理由	指標名を、外国語活動・英語の授業満足度、外国人児童生徒の学校生活満足度から現指標名に変更したことによって、実績値が分かりやすくなった。また、外国語指導助手の計画的な配置と活用により、外国語教育の充実を図ること。かつ、外国籍児童生徒の学習や生活への不安解消のためにも、支援員の配置は必要であるので拡充すべき事業とする。									

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ㊦										
事業内容										